

社会資本総合整備計画

事後評価書

平成27年 3月20日

計画の名称	豊中市における安全・安心で快適な公園・緑地によるまちづくり（防災・安全）			
計画の期間	平成22年度～平成25年度（4年間）	交付対象	豊中市	
計画の目標				

豊中市においては、近い将来開設後30年以上経過する公園が全体の半数を占めることになり、同時に公園施設も一斉に老朽化を迎え、安全・安心のためにも対応を迫られることになる。このことから豊中市では、公園施設長寿命化計画を策定することにより、効率的・効果的な公園施設の改築・更新、バリアフリー化を進め、快適な公園・緑地づくりを推進する。

計画の成果目標（定量的指標）

- 公園施設の改築・更新を実施し、安全性・快適性が向上した公園の割合：0%（平成22年度）→4%（平成25年度末）
- 出入口と主要な施設を結ぶ園路及び広場がバリアフリー化された公園の割合：28%（平成22年度）→34%（平成25年度末）
- 便所がバリアフリー化された公園の割合：9%（平成22年度）→48%（平成25年度末）

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考	
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)		
① 公園施設の改築・更新を実施した公園の数 / 公園施設の改築・更新が必要な公園の数	0%	1%	4%		
② 出入口と主要な施設を結ぶ園路及び広場がバリアフリー化された公園の数 / 園路及び広場がある公園数	28%	31%	34%		
③ 便所がバリアフリー化された公園の数 / 便所がある公園数	9%	21%	48%		
全体事業費	合計 (A+B+C) 185百万円	(210百万円) A 179百万円	(200百万円) B 0百万円	C (10百万円) 6百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C) (5%) 3%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
豊中市環境部公園みどり推進課において実施	平成26年度（事業終了後）
	公表の方法
	豊中市公園みどり推進課窓口にて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	地域種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	公園	一般	豊中市	直接	豊中市	一般		豊中市公園施設長寿命化計画策定	計画策定 371箇所	豊中市						(44) 36	上段：(計画) 下段：実績
1-A-2	公園	一般	豊中市	直接	豊中市	一般		豊中市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	施設更新、バリアフリー化等 22箇所	豊中市						(156) 143	上段：(計画) 下段：実績
小計											(200) 179						

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	計画策定	一般	豊中市	直接	豊中市		豊中市児童遊園施設長寿命化計画策定	計画策定 53箇所	豊中市						(10) 6	上段：(計画) 下段：実績
合計											(10) 6					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	都市公園と同様の利用形態である児童遊園について、都市公園と同レベルでの維持管理をめざす。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

**2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況**

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具や園路等、公園施設の改築・更新を実施したことにより、公園利用者の安全性・快適性が向上した。</li> <li>・出入口や主要な施設を結ぶ園路及び広場をバリアフリー化したことにより、公園利用者の安全性及び利便性が向上した。</li> <li>・便所のバリアフリー化を実施したことにより、公園利用者の利便性が向上した。</li> <li>・公園施設長寿命化計画を策定したことにより、遊具の健全度の観点から平成26年度以降に計画的な整備実施が可能となった。</li> </ul>		
--------------------------------	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①（公園施設の改築・更新を実施し、安全性・快適性が向上した公園の割合）	最終目標値	4%	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8公園において遊具や園路等、公園施設の改築・更新を実施した。</li> <li>・ 交付金額の減少により整備計画上の箇所数を減じたため、実績値が目標値を下回った。</li> </ul>	
		最終実績値	3%			
	指標②（出入口と主要な施設を結ぶ園路及び広場がバリアフリー化された公園の割合）	最終目標値	34%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	34%			
	指標③（便所がバリアフリー化された公園の割合）	最終目標値	48%	目標値と実績値に差が出た要因		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12公園において便所のバリアフリー化を実施し、目標値を達成した。</li> <li>・ 新たに2公園において、市として単費によりバリアフリー化された便所を設置したことにより、便所がバリアフリー化された公園数が増加し、結果として実績値が向上した。</li> </ul>
		最終実績値	53%			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
--	--

**3. 特記事項（今後の方針等）**

・ 今後も公園に来園する誰もが安全で安心して利用できることを目的とし、園路広場及びトイレのバリアフリー化を進め、快適な公園・緑地づくりを推進する。

・ 公園施設長寿命化計画を策定した公園については、日常点検、定期点検等により遊具の安全性を維持するとともに、遊具の計画的な整備（改築・更新）を実施し、利用者の安全性向上を図る。

(参考図面)

